



卓 話



クラブ協議会 地区協議会報告

☆梶浦紀子次年度会長報告

会長部門ではクラブ運営上の要望である「楽しく魅力あるクラブ」の再構築について、例えば趣味などで楽しいクラブを作っていこうという事でした。又会員の高齢化が進むことが予想される為、会員増強の必要性が再確認されました。各クラブの皆様の努力も必要ですが、例えば親子・兄弟等、同じクラブでなくても子クラブ、近隣クラブに勧誘する等の相互扶助も大切であるという事です。各委員会の活動は、各々ロータリーらしい活動に徹していこうという事が話されました。つまりロータリー情報、オリエンテーションに力を入れるという事です。さらに地区委員会の支援を利用すると良いという事も取り上げられました。四大奉仕委員会についての話もありましたがそれは各委員長にお願いします。

☆藤原博次年度幹事報告

幹事部門は戸田パストガバナーをリーダーとして進められました。1.「例会参加の促進」例会の中座はなるべく避け、一定時間同じ場所において精神的境地をすり合わせるという意味でロータリークラブの活動を捉えてほしいという事です。2.「ロータリー情報伝達の充実」つまりロータリー精神をより深く会員に理解してもらおうという事です。次年度に取り入れてやっていきたいと思えます。3.「優秀な人材の発掘」これは後継者の育成を意識しなくてはならないという事です。又次年度のRIのテーマ「ロータリー・シェアーズ」の他に、次年度浅川ガバナーは地区のモットーとして「楽しく魅力のあるクラブ」と「よき友と共に奉仕」をかかげておられます。多くのクラブが会員の減少の問題を抱えていますので、我々のクラブは協議した事を実践しつつ、小さくても骨格のしっかりした、楽しく魅力のあるクラブを作っていければ良いのではないかと思います。

☆曾我祐二郎次年度クラブ奉仕委員長報告

クラブ奉仕部門のメインテーマは「楽しいロータリーライフを皆さんと共にどう過ごせるか」です。その為にどうしたら良いのかを教えてくださいました。2580地区の72クラブの各会員数は、東京336名、東京北135名、東京浅草108名、その他は30～40名のクラブが20、41～50名が11、51～60名が16、61～70名が7、71～80名が1、81～90名が1クラブです。クラブライフの活性化は会員数と関連性があるという事でした。例えば336名の東京RCの例会では240名程出席があるそうですが、委員長は20年活動をしていても半分程の方しかご存知ではないという事で、大きい事が必ずしも良い事ではないと思えました。しかし、大きいクラブはそれなりに色々工夫を凝らしているようです。趣味のクラブ、新入会員のレクチャーや懇親会、例会以外の集会で交流を深める等の工夫をして活動をしています。こうした話を聞いて、当クラブの60～70名位の規模が会員同士の交流を深めるという点ではわかりやすく、何をしても動きやすい丁度良い規模であると思えました。次年度の浅川ガバナーが「楽しく魅力のあるクラブ」「よき友と共に奉仕を」との考えですので、クラブ奉仕委員長としてはその線で進めていきたいと思えます。私共のクラブ奉仕委員会には、クラブ奉仕、出席、親睦、ソングリーダー、会員増強、プログラム、会報委員会の8委員会が属していますが、72クラブ全部では35の委員会で構成されています。その中で特に私が考えていきたいと思ったのが、地域事情の企画委員会という地域の状況にそって奉仕活動をする委員会です。例えば板橋RCでは地域の役に立つ活動としてアンテナを張り巡らせ、中学校のプラスバンドの発表会の場を斡旋するなど地域と交流を深めています。四谷RCも野球教室など地元に着目した事をしてありますが、より一層促進するべきであると思えます。クラブ奉仕委員会は大変な役割ですが、低姿勢で皆さんとやっていきたいと考えています。

☆酒井宏人次年度社会奉仕委員長報告

本年度の社会奉仕委員会の基本方針として、ロータリーにふさわしいロータリーにしかできない奉仕を改めて考える事があげられました。特に社会奉仕の原点に帰るという意味で「決議23, 24」を各クラブ

で再考して欲しいとの事です。又環境保全についても社会奉仕の大きな1つの支点であるので、社会奉仕委員会が中心になってこれまで以上に身近に感じられように話題にして欲しいとの事です。その他、地区補助金を受けたクラブが、各プロジェクトについての発表をしました。当クラブでは来年度も引き続き前年度の実績を重要視し、俳句の発表会、防災、救急訓練、四谷中学での野球教室など各方面と連携し、地域に根づく社会奉仕活動をしていきたいと思っています。また来年度より社会奉仕委員会の中には青少年育成委員会と環境保全委員会が発足するので、委員と話し合いながら活動内容を決めていきたいと思っています。

☆安田望次年度職業奉仕委員長

職業奉仕部門別協議会は佐藤千壽パストガバナーがカウンセラーでした。道徳と資本そして、職業奉仕のエッセンスが詰まっているとの事で「双鯉雁信帖」という深川順一パストガバナーとの7回にわたる書簡のやり取りを収録したものを中心にお話をされました。佐藤パストガバナーは関東方面、深川パストガバナーは関西方面の職業奉仕に造詣が深いとの事で、この「双鯉雁信帖」は東西の両雄が対決をしたという意味もあるそうです。佐藤パストガバナーの1時間20分の話の後、4クラブの職業奉仕委員会で行われている活動の報告がありました。そのクラブによる特徴も感じられましたが、我々のやっている事と大きな違いはないように思いました。職業奉仕はわかりにくい部門ですし、又社会奉仕と国際奉仕との違いをうまく説明できませんが、1つわかりやすいと思った事は社会奉仕や国際奉仕はNPO、つまりNon Profit Organizationであり、職業奉仕はProfit Organization、Profitのある奉仕という事ですが、その姿勢が問われるのだそうです。私も詳しく説明出来る知識を持っていないので、今後の活動の中で学んでいきたいと思っています。10月には職業奉仕月刊が始まります。その時点で講師を招いたり、今年度の鯉江委員長に今年の成果を踏まえてご協力して頂く等の提案をし、出来るだけ早く職業奉仕について、特に比較的新しい会員に理解して頂く事を考えていきたいと思っています。又会長にお願いして炉辺のテーマに少なくとも1回は職業奉仕を選んで実施して頂きたいという事が、部門別協議会を通して考えた方向です。

☆鯉江園子次年度国際奉仕委員長

カウンセラーは指田パストガバナーで、2つのご意見がありました。1つは「相手国のロータリアンとの交流を図りながら相手国の奉仕の芽を育てていく」事が国際奉仕である。2つ目は「行動する事、活動する事で深くロータリアンを知っていく」これが国際奉仕の目的であるとの事です。そこで東京江北RCの高橋委員長が国際奉仕委員会の説明をしました。それは国際奉仕委員会が包括委員会だという事です。そして5つ

の被包括委員会をもってその管理と監督を担うという事でした。その5つは1.ロータリー財団委員会、2.米山奨学委員会、3.青少年交換委員会、4.世界社会奉仕委員会、5.対人地雷除去に関する特別委員会です。今回の地区協議会ではロータリー財団委員会と米山奨学委員会は別の部門別協議会で協議されているので報告は省略します。今回、国際奉仕委員会の目的、つまり方針について3点あがりしました。1つは奉仕活動を実践する主体は各クラブである事を認識しましょうという事です。2つ目は各クラブの委員長はクラブ内の会員に十分な情報の提供と内容の説明を行い、奉仕活動への会員の積極的な参加を促す努力をして欲しいという事です。3つ目は各クラブの奉仕活動が円滑に進むためにRIや地区からの情報提供を推薦し、各クラブからの相談に応じて協力・支援の最善を尽くして欲しいという事でした。それから各委員会から発表が行われました。対人地雷除去について岡崎座長から以前クラブで卓話をして頂いた内容と同じ発表がありました。足掛け8年になるロータリークリアランド、カンボジアの活動について、2010年のクリアランド第10号まで計画しているので協力をお願いするとの事です。当日募金箱が回り65,256円が集まりました。2つ目の委員会は東京RCの太田委員より世界社会奉仕委員会について話がありました。地球規模の奉仕をわかちあう活動の実践版、これがシェアである。そして従来資金援助してきたフィリピン、バギオ基金と対人地雷除去だけでなく、もっと活動を広げて欲しいとの事です。これは浅川ガバナーエレクトの注文でもあります。そしてWCSとして新しいものを考えていく事、又援助する側も現地に赴いて汗する事でやりがいもありますので、各クラブの積極性や独自性を大切にしていきたいとの事でした。又2003年迄のプロジェクト効果一覧表を見せて頂きましたが、2003年から後がないので、各クラブにアンケートをとりどのような活動をしているのか図りたいとの事でした。又マッチンググラウンドとして財団から2倍の活動援助をもらえるとの事ですので当クラブも利用したいと思っています。それから沖縄RCからラオスへの医療支援の話がありましたので、当クラブもラオスへの教育支援をしている事を伝えました。最後に東京上野RCの大野委員長から青少年交換委員会の話がありました。RIが公式に定めた最も成功している活動ではあるものの、大変手間がかかっているとの事です。そこでローテックスの佐藤委員長から留学生の活動紹介の後、会員高齢化等によるホストファミリーの不足に対して会員以外でも良いのではないかと考えている事、そして今後ホストファミリーを紹介する準備をすすめているので相談して欲しいとの説明がありました。このホストファミリーの問題に関しては、これからさらに地区協議会で協議していく必要があるのではないかとこの事です。